２０２３年度　授業計画（シラバス）　　日本コンピュータ専門学校

学科名	学年	授業のタイトル（科目名）
工業専門課程　ITビジネス科	1	C言語
授業の種類	**授業担当者**	**実務経験**
☑ 講義　☐ 演習　☑ 実習	伊勢本　勝一	◉ 有　○ 無

[実務経験歴]

・IT系企業において約３０年間、SEとして担当～マネージャに従事
・主に保険会社の業務システムにおいて、要求分析～システム提案、要件定義～導入、保守を担当
・データベース設計～構築、サーバサイドAP開発～テスト、UNIX系OSのサーバ構築を実施
・業務改革の要求分析～コンサルテーションを実施

単位数（授業の回数）	時間数☒	配当時期	必修・選択
1　単位　（　15　回）	30　時間	○ 前期　○ 後期　◉ 通年	○ 必修　◉ 選択

[授業の目的・ねらい]

・C言語によるプログラム開発の基礎知識を身につける。
・サンプルプログラムを開発ツール（VScode）を用いてコーディング～実行を行う事により理解度を高める

[授業全体の内容の概要]

①C言語の命令、関数、ファイル処理、等の文法を学ぶ
②各自パソコンで開発環境（VScode）を整備しサンプルプログラムを通じデバッグの手順を学ぶ

[授業終了時の達成課題(到達目標)]

Ｃ言語のプログラミング技術の基礎を身につける。

[準備学習の具体的な内容]

予習：教科書の該当箇所を読む。
復習：教科書を読み返す。問題の反復練習。課題の作成。

[使用テキスト]	[単位認定の方法及び評価の基準]
使用テキスト C言語完全入門 **参考文献** 必要に応じて授業の中で紹介する。	定期試験と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。 ・試験の点数は60点以上を合格点とする。 ・全出席日数の3分の2以上の出席が必要。 評価基準 定期試験50%、平常点（出席、課題提出）50%とする。

[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]

1回	イントロダクション（他言語との違い），gcc／VScodeのCオプションのインストール，HelloWorld かく
2回	プログラムの構造（関数，ブロック，文），名前（識別子），基本データ型
3回	式と演算子，優先順位　変数とスコープ
4回	if文
5回	三項演算子　for文／インクリメントとデクリメント

6回	while文　do～while文　break／continue，switch文
7回	配列の基本　配列の利用　配列（多次元配列）
8回	まとめと振り返り
9回	文字と文字列
10回	関数
11回	ポインタ
12回	配列とポインタ
13回	構造体　教養退
14回	関数ポインタ
15回	まとめと振り返り